

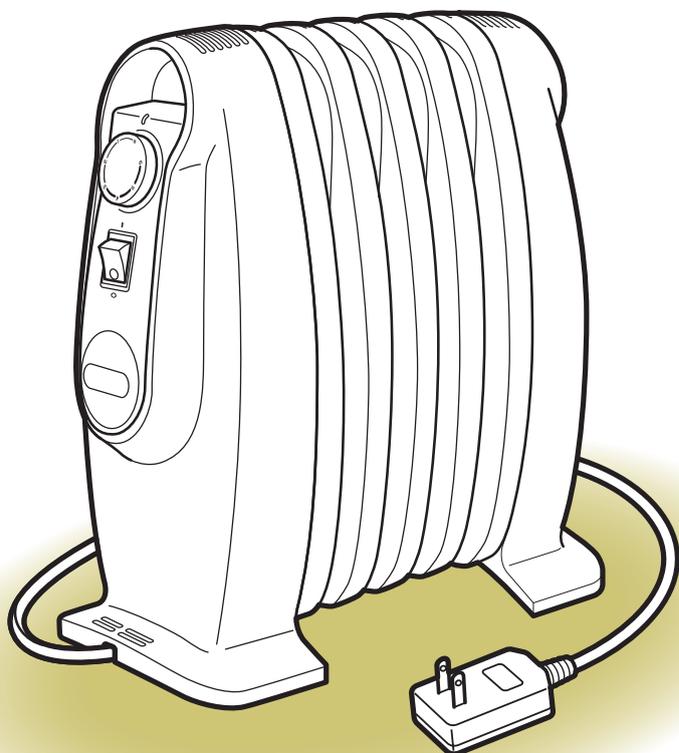


## Electric Oil-Filled Heater デロンギ オイルヒーター

型式番号

# NJM0505 家庭用

※本体の型式番号「NJM0505」の後に続く  
ハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。



## 取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

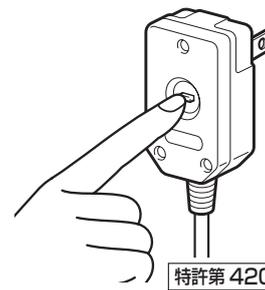
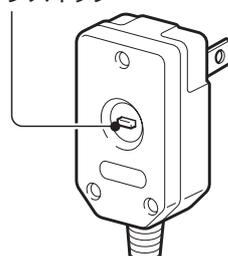
## 目次

安全上のご注意 .....	2
設置場所 .....	3
各部の名称とはたらき .....	4
暖房運転の基本操作 .....	5
仕様 .....	6
故障かな? .....	7
お手入れ／保管のしかた .....	8
電源プラグ・コードの 安全チェックシート .....	9
アフターサービス .....	10
保証書 .....	11

### 安全プラグの確認

ご使用になる際に、ヒーターの電源スイッチ上部を押し、サーモスタットのつまみを最大目盛（6）まで回してもパイロットランプが点灯しない場合は、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでから、本製品をお使いください。

電源プラグスイッチ



特許第 4209907 号取得

# 安全上のご注意 < 必ずお守りください >

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



**警告**

誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



**注意**

誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。



**警告**



**定格 15 A (100 V) のコンセントを使用する**

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ※ 海外など、異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

**電源プラグは根元までしっかりと差し込む**

(火災の原因)

**電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする**

(火災の原因)

- ※ 9 ページ「電源プラグ・コードの安全チェックシート」参照

**電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く**

(火災、感電の原因)

**異常、故障時には直ちに使用を中止する**

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒または落下し、損傷した。

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

**お子様や自分で本機の温度調整ができない方には必ず付き添う**

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 子供が機器(電源コード含む)で遊ばないように監視する。
- ※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。小さなお子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる人が付き添ってください。



**電源プラグ・コードを破損させない**

(火災、感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- コードをピンと引っ張ったまま使用しない。
- コードを引っ張って本体を移動させない。
- 高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

(感電の原因)

**運転中に電源プラグを抜き差ししない**

(火災、感電の原因)

**電源コードを巻き付けたまま使用しない**

(火災の原因)

- ※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用してください。

**収納の際、電源コードをコードホルダーに強く巻かない**

(火災の原因)

- ※ 8 ページ「お手入れ／保管のしかた」参照

**カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない**

(火災、やけど、けがの原因)

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない。
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない。

**分解、修理、改造をしない**

(火災、感電、やけどの原因)

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない(感電、けがの原因)

- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。



**本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない**

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。

# 安全上のご注意 < 必ずお守りください >



注意



## 決められた設置方法に従う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから 20cm 以上離す。
  - 人や家具などからは 1m 以上離す。
  - 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く。
- ※ テーブルや机の下で使用しないでください。

## お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)

- ※ 階段や段差を移動させるときは、必ず手袋などで手を保護し、本体底部を持って移動させてください。

## 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)



## 水、湿気の多い場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所(温泉地の脱衣所など)や塩害のおそれのある場所で使用しない。

## 電源の入切をするための部品(タイマーなど)やその他の製品、部品を組み合わせて使用しない

(火災、感電の原因)

## 本体に水などの液体をこぼしたり、水洗いしたりしない。

(火災、感電の原因)

## 運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

## 本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない

(けがの原因)

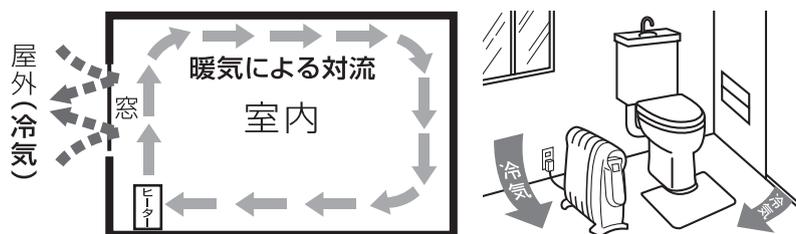
- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

## 犬や猫などのペットの暖房に使わない

(火災の原因)

## 効果的な設置場所

室内で、特に冷気の侵入しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、冷気の侵入を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。



### お知らせ

当社の WEB サイトでは、オイルヒーターをより効果的に使う方法や電気代の目安となるシミュレーションなどをご案内しています。

オイルヒーター特設サイト

<http://oilheater.delonghi.co.jp/>



## この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



# 各部の名称とはたらき

## 〈暖房のしくみ〉

ヒーター内部に密封した難燃性オイル(★)を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはフィン内を循環、効率良く放熱し、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。

★オイルの補充・交換は不要です。

廃棄の際は、10ページをご参照ください。



ご使用の前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはがしてください。

### 取っ手●

本体を移動する／持ち上げるときは、必ず後部の取っ手にも指をかけてください。

### サーモスタット● (ツマミ)

室温(=適温)の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ツマミを右に回す(目盛の数字が大きくなる)ほど温度が高くなります。

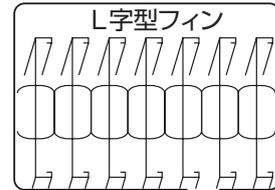
### 電源スイッチ● (500W)

電源 { 入▶上部を押し込む。  
切▶下部を押し込む。

### パイロットランプ● (スイッチ内)

電源を入れると点灯します。点灯時は電源が入っている(ON)状態を表わします。サーモスタットの設定により消点灯を繰り返します。

### ラジエーター水平断面図



### 通気口●

### ●ラジエーター／フィン

### 取っ手●

### ●スタンド

### ●電源コード

使用しないとき(収納・移動時など)は、前後のスタンドに巻きつけておきます。(8ページ参照)

### ●電源プラグ (安全プラグ)

コンセントの老朽化やガタツキによるプラグ部の発熱・発火事故を未然に防ぐために復帰型温度過昇防止装置が内蔵されています。

## ヒーターを移動するときは



本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

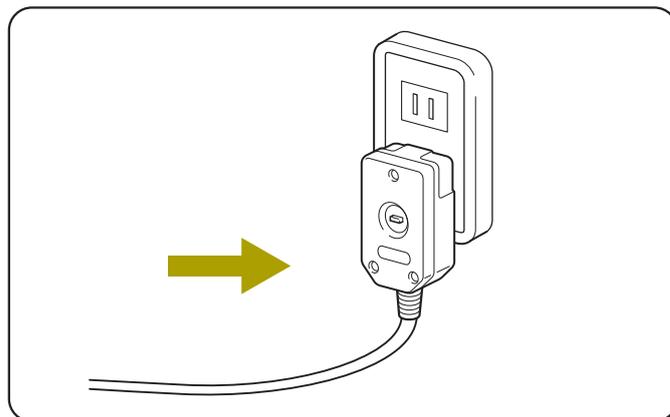
必ず、両方の取っ手に指をかけ、本体を持ち上げて移動してください。引きずると、床面や敷物を傷つけたり、スタンドが破損する場合があります。

# 暖房運転の基本操作

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

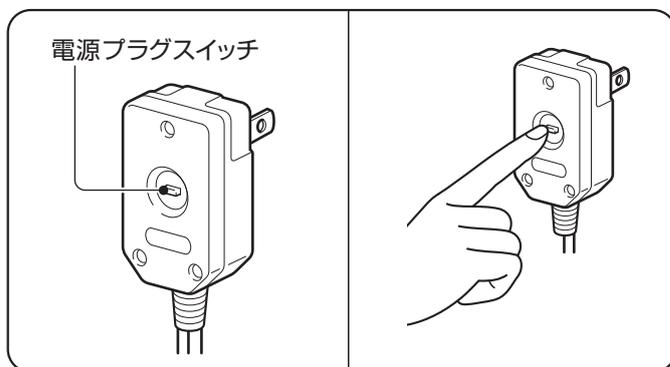


コンセントに根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、スタンドから解き、伸ばした状態でご使用ください。



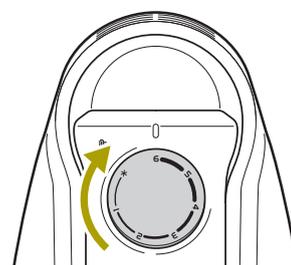
### 安全プラグを確認する

電源プラグスイッチが作動していると暖房運転ができません。電源プラグを差し込んで下の手順②、③を行ってもパイロットランプが点灯しない場合、電源プラグスイッチをカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。



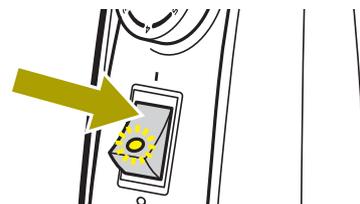
## 2 サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのつまみを右いっぱいまで最大目盛 (6) まで回し、出力レベルを最大にセットします。



## 3 暖房運転を開始する (電源を入れる)

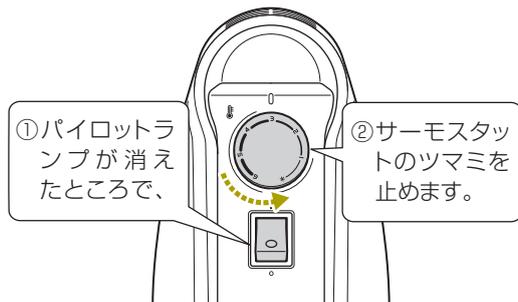
電源スイッチ上部を押し込みます。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。



## 4 サーモスタットを設定する

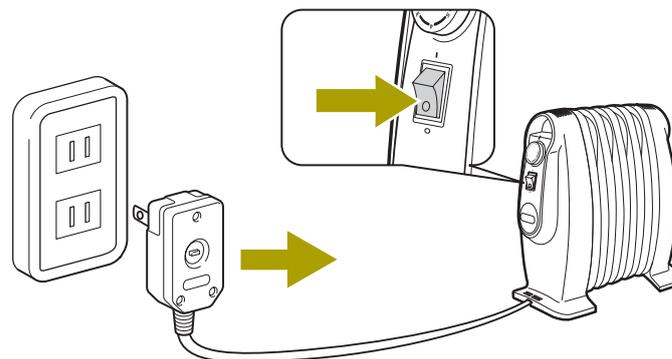
お望みの温度 (= 適温) になったら、サーモスタットのつまみをゆっくりと左 (反時計回り) に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON / OFF を繰り返しながら適温を保ちます (→パイロットランプも消点灯を繰り返す)。

▶ 適温を上げるときは、右 (時計回り) に回し、下げるときは左 (反時計回り) に回します。



## 5 暖房運転を停止する（電源を切る）

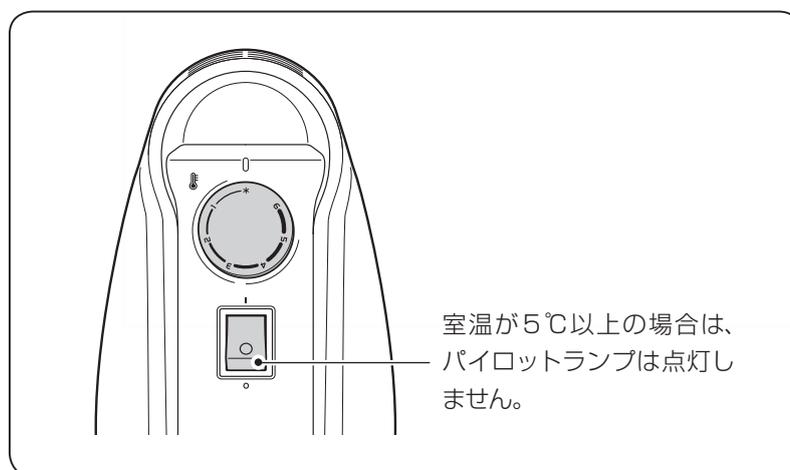
電源スイッチ下部を押して電源を切り（→パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。



### 凍結防止機能

サーモスタットのつまみを \* マークに合わせ、電源を入れておくことで、凍結防止機能が働きます。室温が5℃以下になった場合に、室温が約5℃になるようにヒーターが運転を始めます。

室温の下がりすぎを防ぎます。



## 仕様

製品名称	デロンギ オイルヒーター
型式番号	NJM0505
適用畳数	3畳まで
電圧／周波数	交流 100V／50/60Hz
消費電力	500W
外形寸法／質量	長さ 37.5cm × 幅 17.5cm × 高さ 38.5cm / 5.5kg
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置（本体内）・ 復帰型温度過昇防止装置（電源プラグ内）

# 故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、電源スイッチ下部を押して電源を切り（＝運転を中止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 10 ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
電源スイッチ上部を押してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。 サーモスタットのダイヤルの目盛を今より大きい数字に合わせます。
	電源プラグの復帰型温度過昇防止装置が作動している	運転中に電源プラグスイッチが作動した場合は、一時使用を止め、当社（10 ページ）にご連絡ください。（詳しくは 5 ページ参照）。
電源スイッチ上部を押すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社（10 ページ）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回します。止まるまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または当社（10 ページ）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ・コードが異常に熱くなる	電源プラグ・コードが正しく接続されていない	「電源プラグ・コードの安全チェックシート」（9 ページ）に従って、電源プラグ・コード、および壁コンセントの点検をしてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置）によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、右（時計回り）に止まるまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生する冷気の侵入を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約 30 分～1 時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取り扱いください。  電源スイッチ下部を押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、当社（10 ページ）にご連絡ください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
使いはじめの臭い		使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくお使いいただくと臭いはおさまります。
パチッパチッと天ぷらをあげるような音がる		外気との温度差によってラジエーター内部で発生した結露が熱くなったオイルに落ちた時の音です。異常ではありません。
まれに「カンカン」や「キーン」といった金属音がする		本体が温まったり、冷めたりする際に発生する音です。異常ではありません。
パネル内に青白い光が見える		周囲が暗いと、操作パネルの内部に青白い光が見えることがあります。異常ではありません。

## お手入れ／保管のしかた



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない

### お手入れ

#### 定期的なお手入れ

- 本体および床や壁との隙間に溜まっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。
- コンセント (刃受) および電源プラグ (刃) に付着しているゴミやほこりは、定期的に掃除機などで必ず取り除いてください。トラッキング現象の防止となります。(9 ページ)

#### 本体が汚れたら

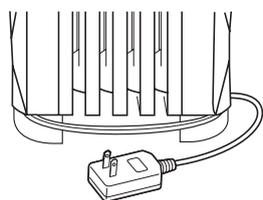
- 乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

### 保管のしかた

このページの「お手入れ」に従って、本体の汚れやたまったほこりを取り除いてください。



#### 収納時の電源コードの巻き方

前後のスタンドに巻きつけておきます。

※ 暖房運転をするときは、必ず電源コードをスタンドから外し、本体に触れないようにしてください。



電源コードをコードホルダーに強く巻かない  
(火災の原因)

#### 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。



逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

# 電源プラグ・コードの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

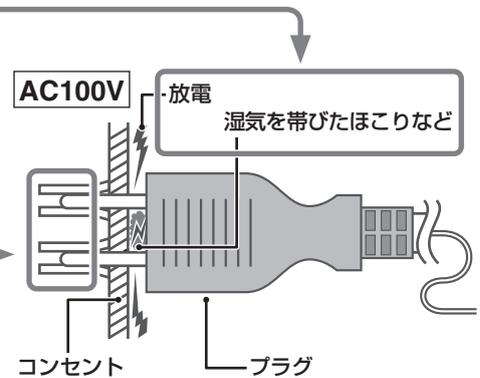
## ■ トラッキング現象とは

火災の原因となる自然現象です。コンセント周りにほこりが溜まると、そこに湿気が加わることで異常電流が流れやすくなります。異常電流が長い時間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、最終的に放電現象と火災が発生します。これがトラッキング現象です。

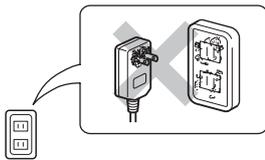
トラッキング現象は、定期的なお手入れで防ぐことができます(8ページ参照)。

## ■ 電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

コンセントに電源プラグが根元までしっかり差し込まれていないと、刃受けとプラグの刃が不十分な接触のために、コンセントが発熱します。この状態のまま使用し続けるとコンセントやプラグが熱で変形・変質して、さらに発熱し、火災の原因になります。



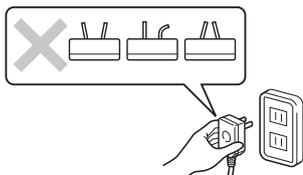
### ☑ 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にほこりや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

定期的に、電源プラグやコンセントに付着したほこりを掃除機などで取り除いてください。

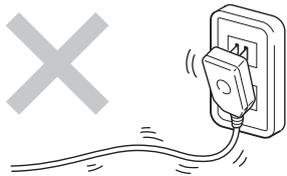
### ☑ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受けを変形させる原因となります。

ベンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社にプラグの交換をご依頼ください。

### ☑ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受けのばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

### ☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？

家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

### ☑ 電源コードを束ねたままではありますか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度(約40℃)になります。電源コードを束ねたままでお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは残さずスタンドから解き、伸ばしたままお使いください。

### ☑ 電源コードをスタンドに強く巻きつけすぎていませんか？

電源コードを強く巻きつけると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

電源コードをスタンドに強く巻きつけないでください。

### ☑ コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用していませんか？

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用すると、発熱による発火の恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格容量を超えて使用しないでください。

# アフターサービス

## 使用中に異常(★)が生じた場合

直ちに電源を切り(=運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」(7～8ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

### ★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 電源プラグ・コードが変形/破損している
- 操作部やフィンに、水などの液体をこぼした
- 本体に強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

## 万一故障した場合

保証書に記載されている販売店に、『①お買い上げ日』、『②製品名称と型式番号』、『③故障の状況』をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります(補修用性能部品保有期間内)。

## 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、下記にお問い合わせください。

## デロンギ再資源化システムについて

ご不要になった製品は、当社で費用を負担し、素材ごとに分別し、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は下記までご連絡ください。



● **送料について**：送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。

● **梱包について**：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または下記にお問い合わせください。

## デロンギ お客様サポートセンター

(受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～18:00)

Tel.0120-804-280 / Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL) — <http://www.delonghi.co.jp/support>

# 保証書

ご購入店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。 **持込修理**

製品名：デロンギ オイルヒーター		
型式番号：NJM0505		
お客様	ご氏名： _____ 様 TEL： _____	
	ご住所：〒 _____	
販売店	※店名・住所・TEL： _____  印	
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本体

## 保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
  - イ. 本書のご提示がない場合
  - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
  - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
  - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
  - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
  - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
- チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

- 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
- 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。



DHI-190318  
5710510391